

地域ぐるみの共同活動による保全活動

都市的地域

17.西俣野環境保全向上の会（神奈川県藤沢市）

- 本地域は、二級河川境川の流域にまとまった農地を形成しており、市の中心的な農業生産の場となっていることから、将来にわたっての維持保全が必要である。
- 土地改良区が主体となり、地域ぐるみの共同活動により農業用施設の良好な保全管理に取り組んでいる。
- 地域住民・児童との交流活動として、取水堰を利用した用水路の生き物観察や景観形成のための水路法面への植栽、農閑期のレンゲ等の栽培を行っている。また、老朽化が著しい農業用施設については、長期的な改修に取り組まなければならない時期に差しかかっており、活動組織自ら水路の更新活動に取り組んでいる。

【地区概要】

- ・取組面積 37.81ha
（田 26.75ha、畑 11.06ha）
- ・資源量 開水路 4.3km、農道 6.6km
- ・主な構成員
農業者、土地改良区
非農業者（自治会）

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 活動開始前から土地改良区が取水門や用排水路の掃除、点検補修等を行っていた。
- 維持管理費用は、市の補助があったものの、農業者の持ち出しも多々あり、土地改良区としては負担が大きかった。
- 地域の様々な団体による地域の環境保全活動があった。



地域ぐるみの農業用施設の点検・機能診断活動(4月)



地域ぐるみの水路周辺の草刈り・清掃(7,9,11月)

取組内容

- 土地改良区が主体となり、地域ぐるみで水路、農道周辺の点検、草刈り、初期補修等を実施。
- 老朽化の著しい農業用水路を機能診断し、漏水箇所の目地詰め・破損箇所の補修等を実施。
- 生態系保全の啓発・普及や、農業への理解を深めることを目的に、田んぼや用水路、取水堰での生き物観察会を実施。



用水路の補修作業



直営施行による水路の更新工事

取組の効果

- 米作が盛んな地区内の用水路、排水路の維持管理及び初期補修等を図り、中心経営体の農作業の軽減に寄与。
- 農地を利用した景観保全の取組により、都市近郊地域に位置しながら美しい田園景観を維持。
- 生き物観察会は近隣の文教施設とも連携して実施されており、地域の交流イベントとして定着。



用水路や取水堰での生き物観察会
(7月、約60人)

農閑期を利用したレンゲの栽培

